

(様式例) 令和8年度都立井草高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の充実</li> <li>・「書くこと」の指導の充実</li> <li>・語彙力の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の指導や言語活動の充実に向けた科内研修の実施</li> <li>・ミニビブリオバトルの実施</li> <li>・全学年で週1回の小テスト実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文模試の実施</li> </ul>
地理歴史	「主体的に学習に取り組む態度」を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で毎時の目標を達成するために、まとめ部分を自ら表現させ、意見交換を行い、学級全体で発表する。</li> <li>・単元目標を達成するために、毎時のまとめを総合して単元のまとめ部分を自ら表現させる。</li> <li>・体験活動を充実させ、生徒が主体的に学習に取り組む興味・関心を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末を活用し、グループに分かれて一つのテーマを多角的な視点から考察し、様々な方法で発表する。</li> <li>・1人1台端末を活用し、配信された電子上のワークシートにタッチペンやキーボード入力で書き込み、まとめ部分を共有サイトで共有する。</li> </ul>
公民	基礎的知識・発展的知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートとスライド資料を使用した授業を展開</li> <li>・定期テストを実施し、知識定着の度合いを測る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権者としての知識や主体的態度を育成するため、区の選挙管理委員会と連携し模擬投票を行う。</li> <li>・知識の理解を前提として、対話型・問題解決型のグループワーク等を行う。</li> </ul>
数学	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した数学的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を数学的に捉え、問題解決に向かう過程において、生徒自らが考察する時間を確保する。</li> <li>・生徒が数学のよさを認識し、興味関心をもって取り組むことができるような授業づくりを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試で数学を活用することを目指して、記述式問題の解答方法を日々の授業でも指導するとともに、定期考査において記述式問題を取り入れる。</li> </ul>
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入学共通テストの問題分析会を実施</li> <li>・考察・推論したことや結論についてのパフォーマンステストを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学研究室訪問で、探究の方法やレポートのまとめ方について学習</li> <li>・「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量の確保</li> <li>・技術の習得</li> <li>・健康について、自ら考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、補強運動に取り組む。</li> <li>・自分で種目を選択し、より専門性の高い技術を習得する。</li> <li>・教科書を通して、健康について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期に実施する持久走で、基礎体力をつける。</li> <li>・グループワークなど、生徒同士で考えて技術や戦術を発展していく。</li> <li>・調べ学習を通して、健康について考えを広める。</li> </ul>
芸術	豊かな感性の育成と基礎的な技能を身につけさせる指導の充実	基礎的な知識や技能を理解したうえで身につけられるようにする。芸術3科それぞれの授業内容や評価について情報共有の機会を充実させる。	発表や好評の機会を設け、自らの取り組みを振り返り、評価・改善したりしようとする態度を育成するための授業方法の考案および実施。
外国語	4技能指導の充実と大学入試への接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で指導目線合わせを実施</li> <li>・各学年でパフォーマンステストを実施</li> <li>・英検校内実施と受験促進</li> <li>・特に低学年を中心にネイティブ教師とのやりとりを推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月オーストラリア国際交流プログラムを実施</li> <li>・11月海外修学旅行を実施</li> <li>・校外学習にてTGGにおける英語体験学習を実施</li> <li>・オンライン英会話の実施</li> <li>・JICA国際協力出前授業における英語を活用した異文化交流を実施</li> </ul>
家庭	生活の充実向上を図る主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート等の学習、実習をとおして家庭生活における基礎的な知識や実践的な力を身につける。</li> <li>・身近な題材を取り入れ、家庭や地域の生活に関する関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活についての課題を見だし、その解決方法を考え共有する機会を設ける。</li> </ul>
情報	「課題解決」につながる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なコンピュータの仕組み、情報リテラシーを養う教材の開発</li> <li>・実社会に即座に役立つ知識を重点的に学習し、課題解決能力を身につける授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ（協働学習）による探究的な実習を実施</li> <li>・プログラミングや検定試験の勉強をすることでより実践的かつ問題解決能力を身につける授業の実施</li> </ul>